住宅の耐震改修に向けたステップを支援します!

① 耐震診断 ~住宅の耐震性がどのくらいあるか診断します~

◎費用

診断者(建築士)の交通費として1,000円 かかります。

※診断費用は無料です。

◎診断方法

診断者が訪問し、間取り図や建物の状態を確認 して、耐震性を診断します。

◎対象住宅

昭和56年5月31日以前に着工され、 在来軸組工法で建築された 2 階以下の 一戸建て住宅または併用住宅

◎募集期間

申込受付中!

第1次 令和元年9月30日(月)まで 第2次 令和元年10月~12月(予定)

昭和56年5月31日以前に着工された住宅は、・

耐震診断の結果区分

この範囲の診断結果が多いです 2 区分 耐震性が十分に 耐震性が 倒壊する可能性がある|倒壊する可能性が高い 確保されている 確保されている

対震診断をされたかたの感想



- 自宅の健康診断のつもりで申し込みました。
- 費用があまりかからず、気軽に申し込むことができました。

~耐震改修の方法などの疑問に、無料でお答えします~

◎対象者

耐震診断を受けたかたや、増改築に併せて 耐震改修したいかたなどどなたでも

◎開催スケジュール

令和元年10月(予定) 第1回 令和2年 2月(予定) 第2回

住宅の間取り図や耐震診断結果などの資料が必要です。

③耐震改修 ~耐震改修の際は、ぜひ補助金をご活用ください~

◎補助金額

上限80万円

※耐震改修に係る合計費用の2分の1以内

◎耐震改修の流れ

- 1) 精密診断(詳細な耐震診断)
- → 2) 耐震補強設計(工事内容の決定)
 - → 3) 耐震補強工事(改修工事の実施)

◎対象住宅

町主催の耐震診断の結果が、

「倒壊する可能性がある」または、 「倒壊する可能性が高い」住宅

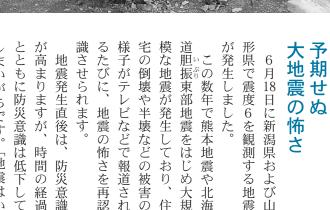
◎募集期間



申込受付中!

令和元年9月30日(月)まで

申込み:都市建設課 計画管理係



たり避難所や仮設住宅での不 とともに防災意識は低下 心構えをしておくことが大切 しまいがちです。 地震により自宅が倒壊など 長期間にわ 「地震はい

> 二次的被害の増大につながるし、救助活動が遅れるなど、緊急車両の通行に支障をきた 地で建物倒壊が起きた場合、

礎や壁の補強といった耐震改 ると判定された場合には、 まず建物の の耐震性を高めるた

時間の経過

防災意識

室内にあるタンスや本棚など の家具が倒れないように壁に いように家具の配置を工夫す 建物自体の補強のほかに、 出入口を塞がな い、効果的な住宅改修をされがるような工事を同時に行がるような工事を同時に行なった。 を行い、耐震化の促進に取り③耐震改修費用の一部補助 組んでい ②耐震相談会の実施 耐震診断者の派遣

・ます。

地震に備えましょう住まいの耐震性を高め

修工事を実施しましょう。 倒壊する可能性があまず建物の耐震性能を

特に耐震性が不十

された木造住宅に対

板倉町の 震災に強いまちづく 地震による建物 補助事業

震化の促進に取り組んでいまづき、住宅および建築物の耐 守り、震災に強いまちづくり倒壊などの被害から皆さんを 「第2期板

問合せ 計画管理係 \blacksquare 8 2 - 6 1 5 1

(2)

から命を守るため

れる昭和56年5月以前に着工 -分と言わ (3) Liたく R 1. 7. 1